

小規模水供給システムの 持続可能な維持管理に関する統合的研究 令和2年度～4年度（予定）

浅見真理（国立保健医療科学院）

伊藤 禎彦・中西 智宏・堀さやか（京都大学）

小熊 久美子（東京大学）

増田 貴則（鳥取大学）

牛島 健（北海道立総合研究機構建築研究本部）

山口 岳夫（国際厚生事業団水道技術参与・
水道技術経営パートナーズ）

H29-R1小規模水供給システムの 安定性及び安全性確保に関する統合的研究

財政

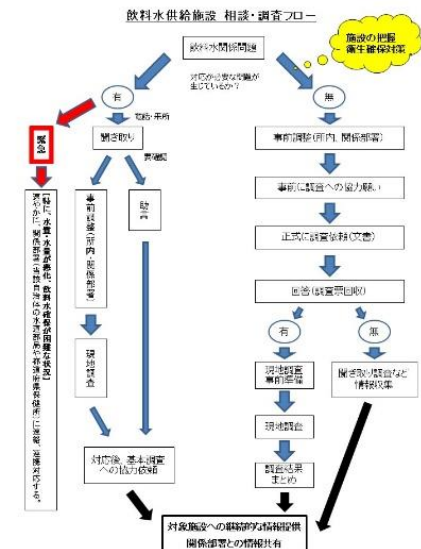
連携



技術

維持管理

制度



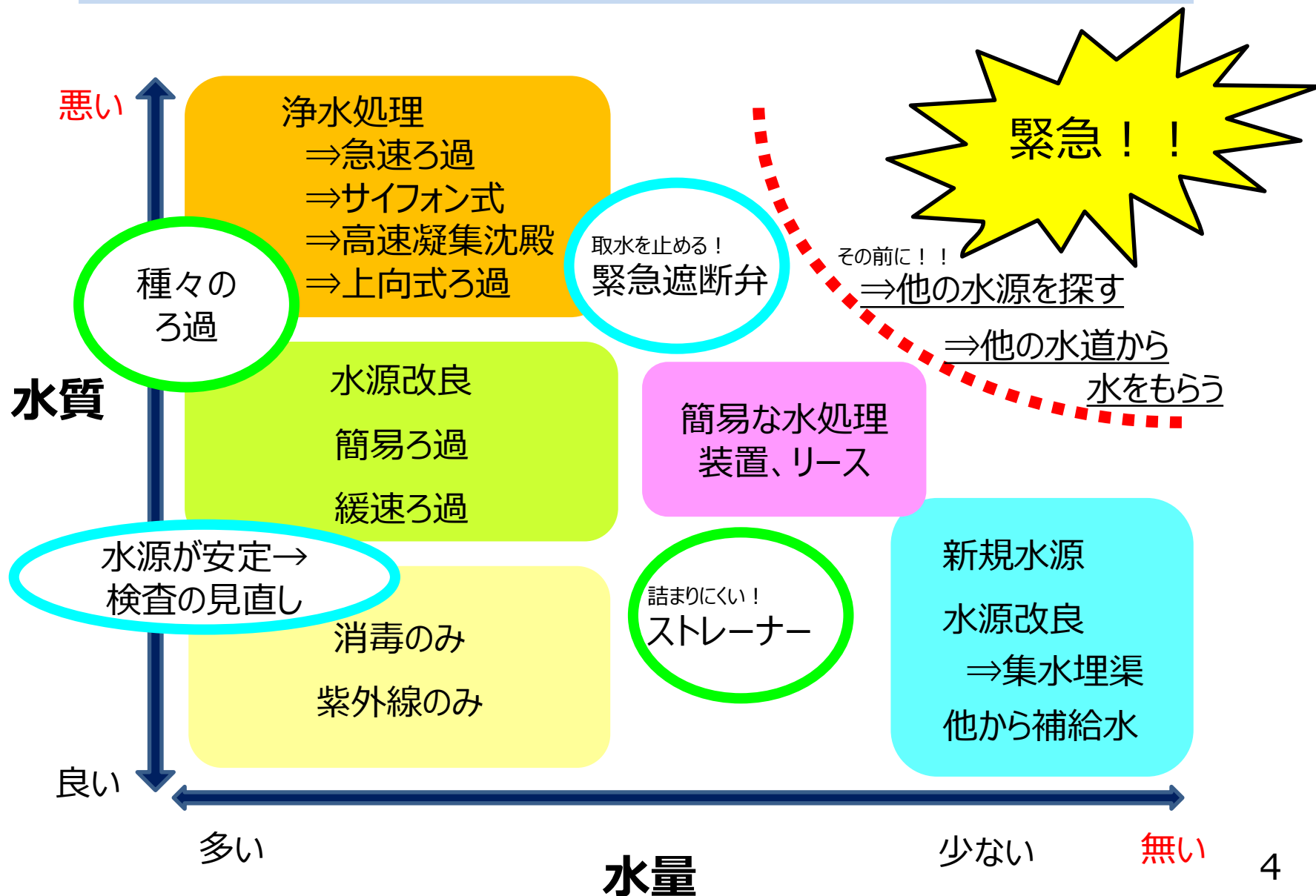
管理・指導

水道・水供給システムの区分と課題

給水人口	区分	認可主体	問題
5万人超	(公営) 上水道事業	大臣認可	場所により、収入減、人口減、旧簡易水道を統合したが、実情は大変
5,001人以上	(公営) 上水道事業	都道府県認可	
101人以上	簡易水道	都道府県認可	
50 (30)人以上	飲料水供給施設(公営)	市町村が設置	残る簡易水道 給水人口の減少 飲供のソフト統合
数軒程度	組合等	市町村が補助(一部)	ますます人口減少
1 家庭	飲用井戸 (個人井戸)	衛生部局・保健所が指導	住民が管理しているが、ますます人口減少 維持管理が困難
			住民が管理・存在把握しにくい・衛生状態に課題も

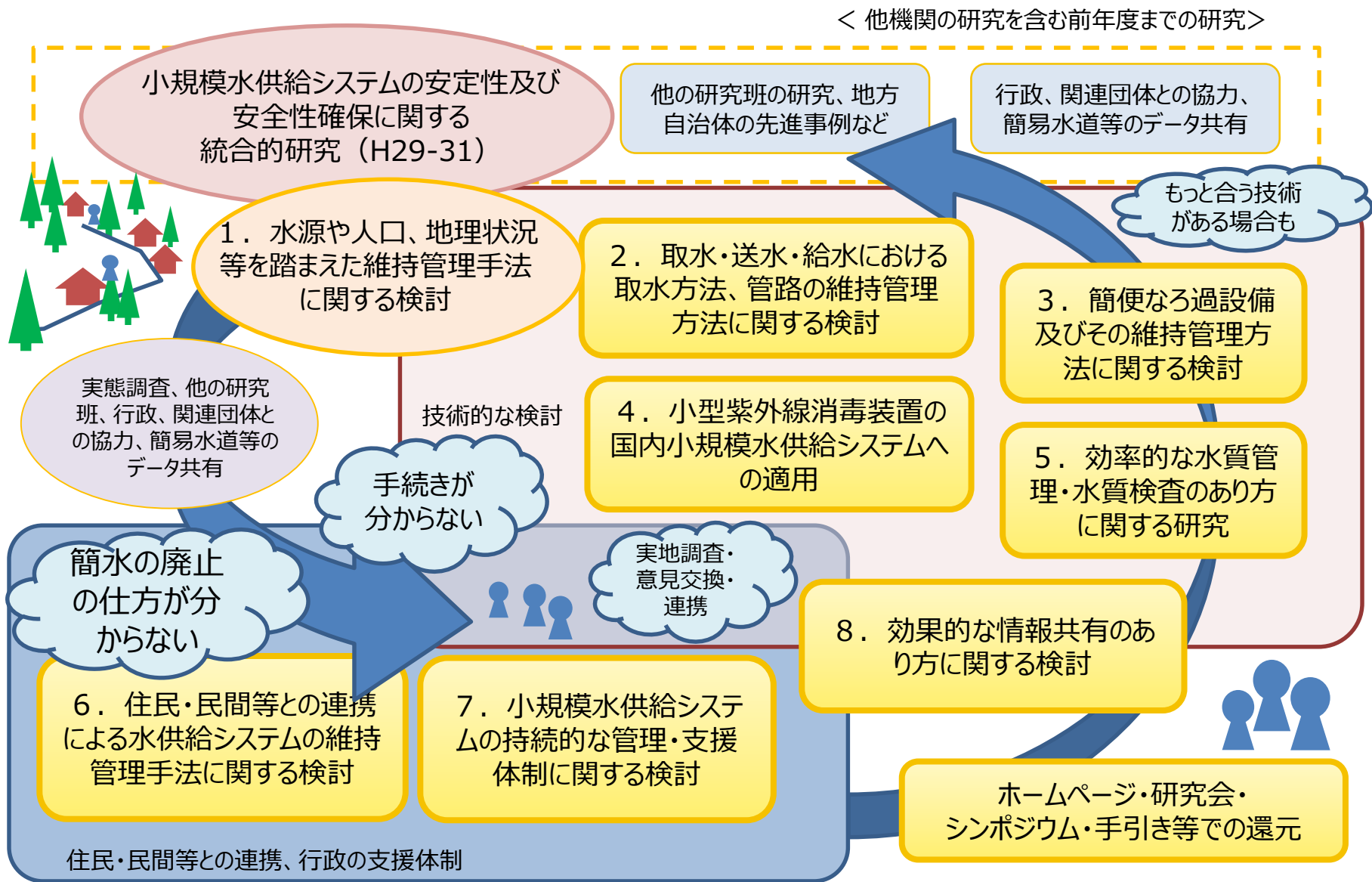


小規模水供給システムでの問題解決手段



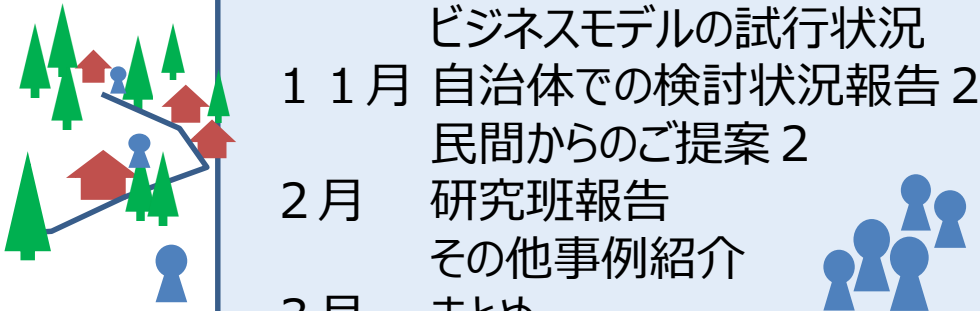
令和2-4年度厚生労働科学研究費補助金

小規模水供給システムの持続可能な維持管理に関する統合的研究



小規模水供給システムの持続可能な維持管理に関する統合的研究 進め方（案）

8. 効果的な情報共有のあり 方に関する検討（案）

- 
- 4月 研究班打ち合わせ
 - 6月 研究班会議（Web）
 - ・厚労省等の概況
 - ・小規模水供給研究会
 - 9月 自治体での検討状況報告 1
民間からのご提案 1
ビジネスモデルの試行状況
 - 11月 自治体での検討状況報告 2
民間からのご提案 2
 - 2月 研究班報告
その他事例紹介
 - 3月 まとめ

【自治体(個人を含め
ご関心をいただ
いているところ)】

・北海道
・埼玉県
・奈良県
・静岡市
・浜松市
・長野市
・河内長野市
・兵庫県
・養父市
・佐世保市
・みどり市など

【各種団体】

・厚生労働省
・総務省
・簡水協
・日水協
・水道技術研究センター
・山梨大学（JST）
・神戸大学
・大阪工業大学
・東北大学
・立命館大学
・民間会社多数
・日本水道新聞
・水道産業新聞 等

6. 住民・民間等との連携
による水供給システムの維持
管理手法に関する検討

7. 小規模水供給シス
テムの持続的な管理・支援
体制に関する検討

ホームページ・研究会・
シンポジウム・手引き等
での還元

本日の目標

- 各種課題の共有
- 制度の情報共有
- 特に住民連携について
- 各地の進捗状況
- 小規模水供給研究会
の今後の活動について

